

審判事ニ豫審ヲ求ムルコトヲ要スルハ刑事訴訟法第六十二條ノ明文ニ徴シテ明カナリ若シ夫レ輕罪トシテ起訴ノ手續ヲ爲シタル事件ニ付控訴又ハ附帶控訴アリタル場合ニ控訴審ニ於テ重罪事件ノ審理ニ必要ナル手續ヲ爲サスシテ審理判決ヲ爲スコトヲ得ルモノトセンカ法律カ重罪事件ノ審理ニ重キキ置キ特ニ第六十二條一號ノ規定ヲ設ケタルノ所以ノ主旨ニ反スルニ至ラン是レ第二百六十四條一項ニ於テ更ニ重罪事件トシテ裁判スヘキ旨ノ決定ヲ爲シ受命判事ヲシテ其事件ノ取調ヲ爲シ報告ヲ爲サシムヘキ旨ヲ規定セル所以ヨシテ此規定ハ右第六十二條一號ノ規定及ヒ地方裁判所ノ公判手續ニ關スル第二百四十一條ノ規定ト同一ノ精神ニ基クモノナルコトヲ推知スルコトヲ得ルノミナラス受命判事ハ重罪事件トシテ其事件ノ豫審手續ヲ爲スモノニ外ナラサルコトハ前掲第二百六十四條一項後段ノ規定ト「受命判事ハ豫審判事ニ屬スル處分ヲ爲スコトヲ得」トアル同第二項ノ規定ニ徴シテ益々明瞭ナリトス右ニ反シテ當初ヨリ重罪トシテ起訴豫審ノ手續ヲ爲シタル事件ハ重罪事件トシテノ審理手續ニ毫モ欠クル所ナキヲ以テ受命判事ヲシテ特ニ其事件ノ取調及ヒ報告ヲ爲サシメ且ツ之レカ爲メ豫審判事ニ屬スル處分ヲ爲スノ職權ヲ受命判事ニ與フルノ必要ナク且ツ一審裁判所ニ於テ輕罪ナリトシテ判決シタルカ爲メ特更ラニ此必要ヲ生スルノ理ナシ故ニ第二百六十四條ニ「地方裁判所カ輕罪ナリト判決シタル事件云々」トアルハ畢竟輕罪トシテ起訴セラレタル事件ヲ豫想シタルモノニシテ輕罪トシテ起訴セラレタル事件ニ付地方裁判所カ判決ヲ爲ス通常ノ場合ニ着眼シテ右ノ如キ文詞ヲ用ヰタルニ過ギザル

モノト解釋スルヲ相當トス而シテ本件ハ當初重罪事件トシテ起訴豫審ノ手續ヲ經タルコトハ豫審終結決定書ニ徴シテ明瞭ナレハ原院ニ於テ第二百六十四條一項後段ノ手續ヲ爲サ、リシハ正當ニシテ上告論旨ハ理由ナシトス

右ノ理由ナルヲ以テ刑事訴訟法第二百八十五條ニ依リ本件上告ハ之ヲ棄却ス

明治三十四年十二月二十七日於大審院第二刑事部公廷檢事與宮正治立會宣告ス

○大審院刑事部裁判長及部員氏名表

第一刑事部

裁判長

部長

部員

判事 原田種成

判事 小松弘隆

判事 永井岩之丞

判事 伊藤悌治

判事 井原師義

判事 末弘嚴石

本部ノ開廷

月曜日

木曜日

本部ノ所管

刑事部氏名表

東京控訴院

宮城控訴院

函館控訴院

第二刑事部

裁判長

部長

部員

判事 長谷川 喬

判事 岩田武儀

判事 木下哲三郎

判事 鶴 丈一郎

判事 鶴 見守義

判事 横田秀雄

本部ノ開廷

火曜日

金曜日

44 + G - 45

刑事判事氏名表

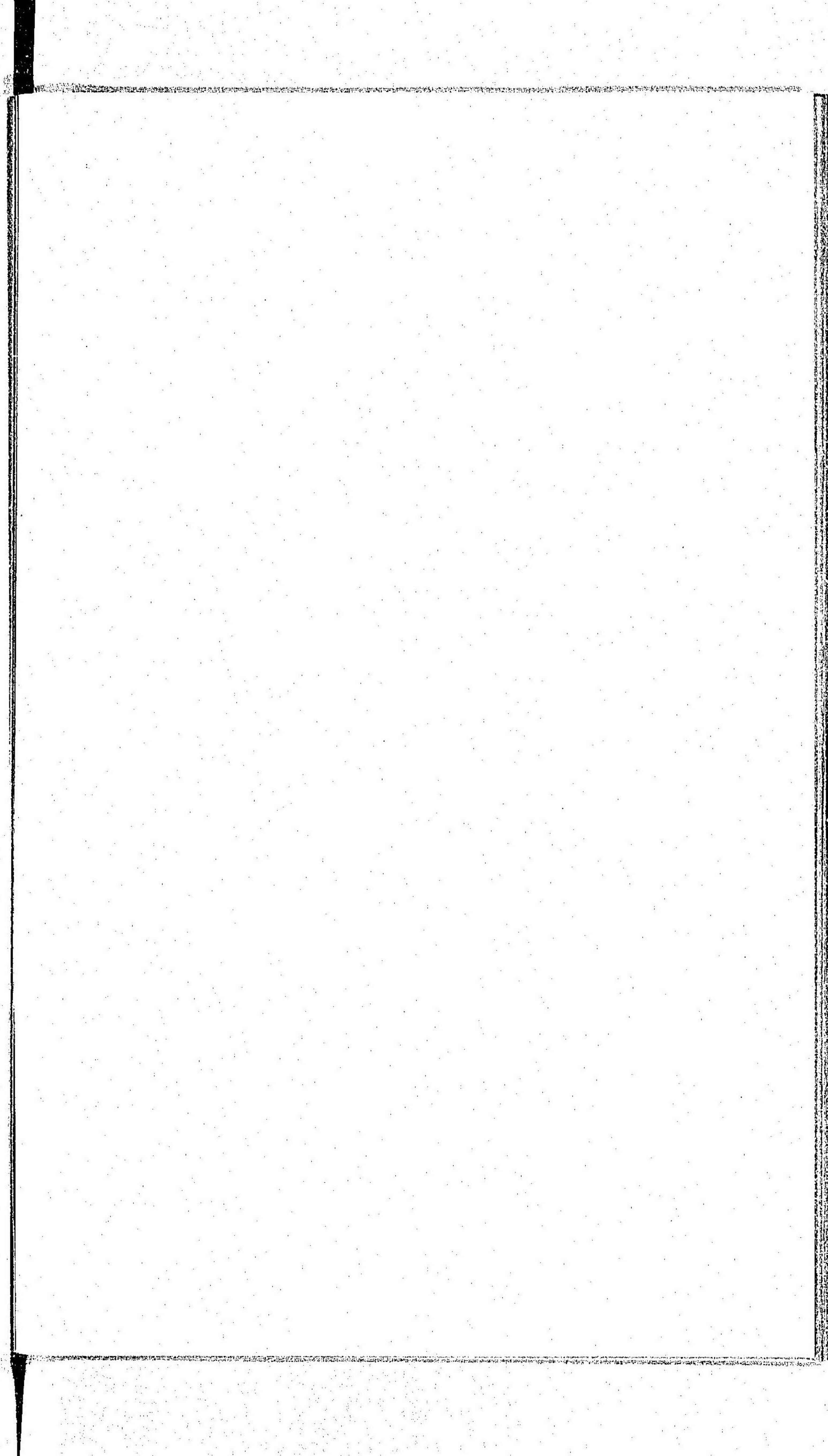
本部ノ所管

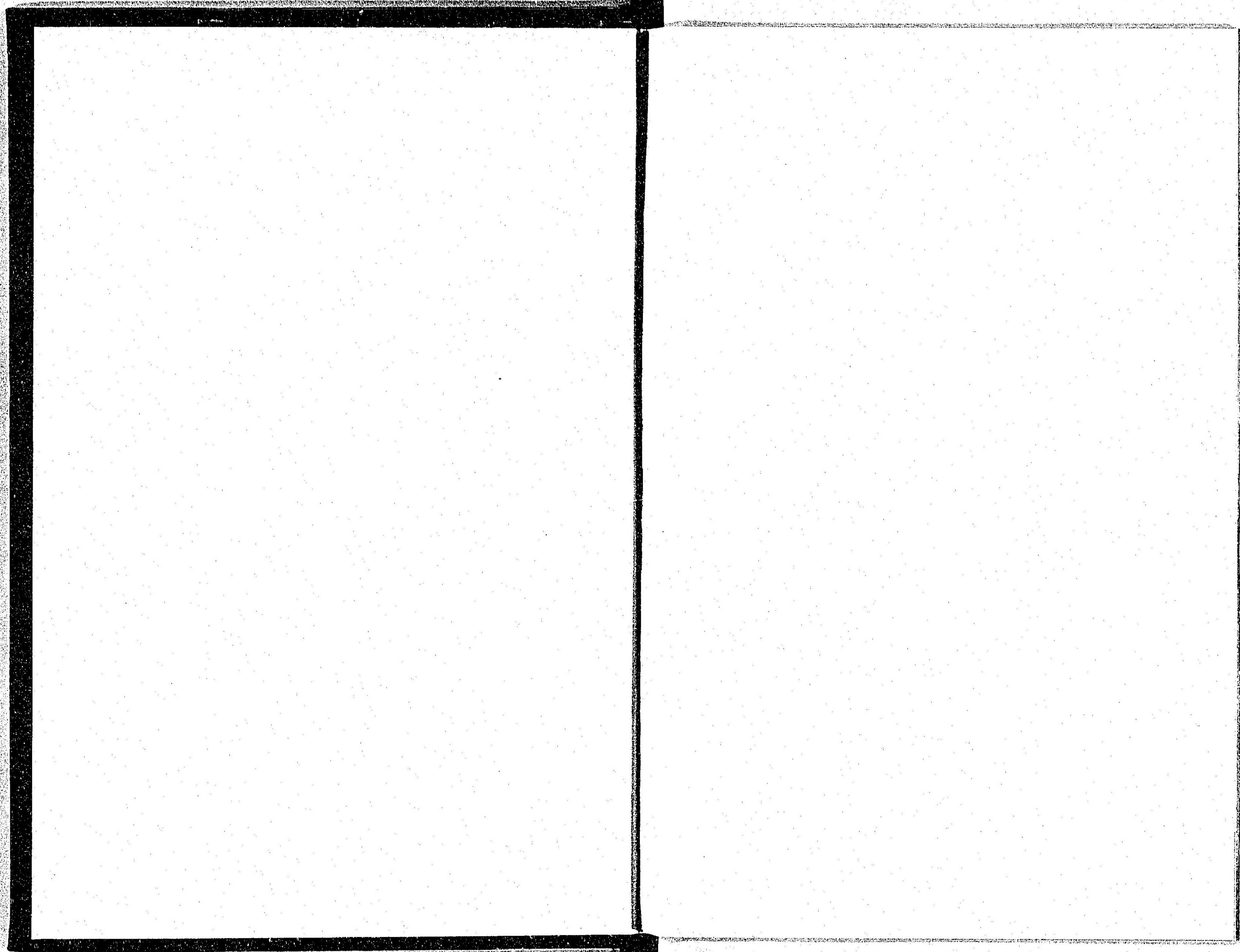
大阪控訴院

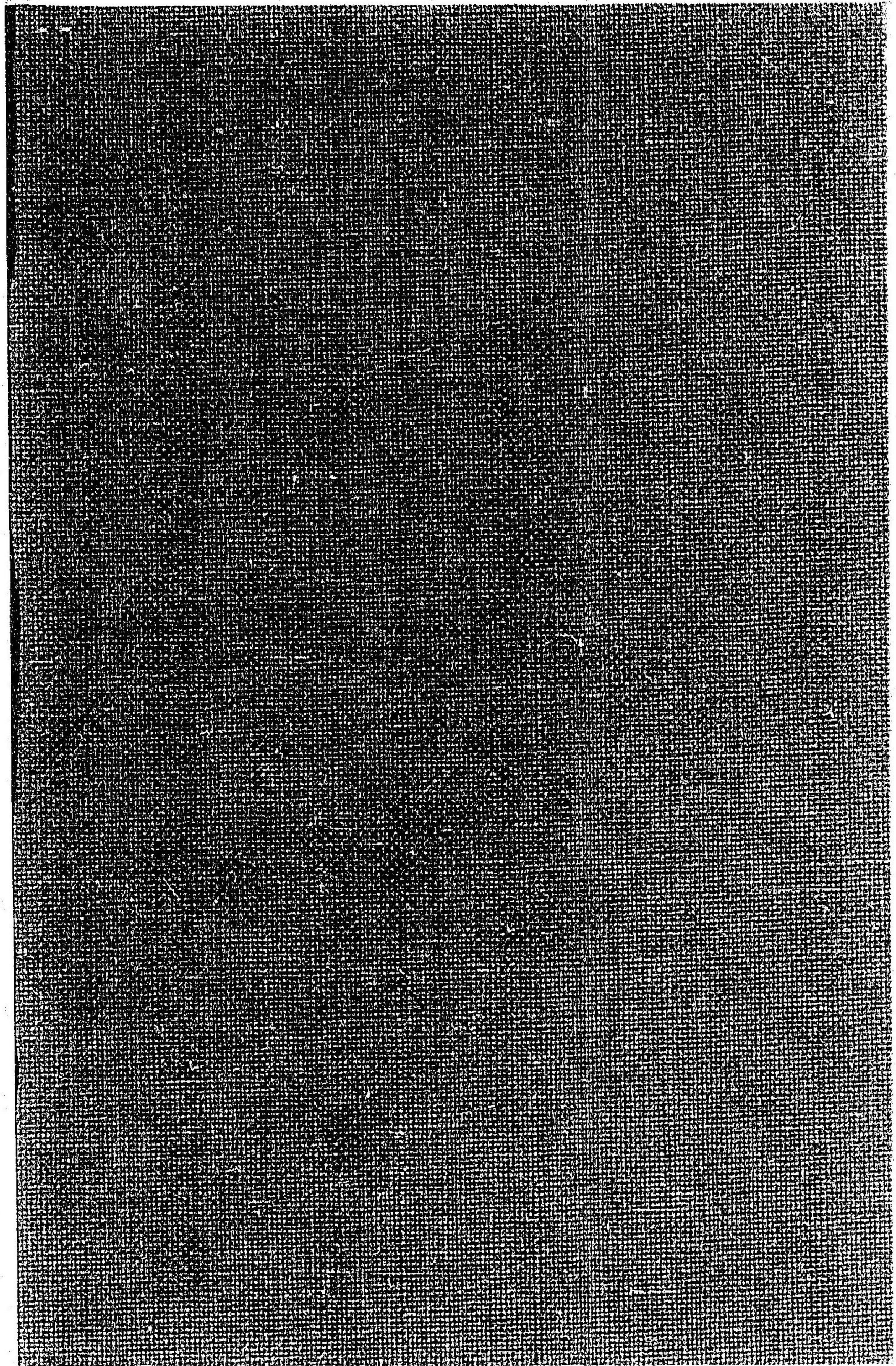
長崎控訴院

名古屋控訴院

廣島控訴院







036551-007-2

CZ-2711-7

大審院刑事判決録

第1-18輯

中央大学

M28-45

BBR-0390



